



# 【鹿児島市電車両一覧】



①500形  
【昭和30年製造 1両】



鹿児島市交通局が営業走行している電車の中で最も古い車両

製造:東洋工機

②600形  
【昭和34年～38年製造 8両】



500形と600形の違い:車両外観は似ているが、窓と台車の形状が異なる

製造:日立製作所

③2100形  
【平成元年製造 2両】



鹿児島市制100周年及び交通局発足60周年を記念して製造

製造:JR九州鹿児島車両所

④2110形 姉妹友好都市号  
【平成3年製造 3両】



2111:大垣&鶴岡号  
2112:パース&マイアミ号  
2113:長沙&ナポリ号

製造:JR九州鹿児島車両所

⑤2120～40形  
【平成3年～6年製造 6両】



運転席の大きな窓、車両側面の引違い窓が特徴

製造:JR九州鹿児島車両所

⑥9500形 車体更新車  
【平成7年～12年製造 14両】



800形台車を利用した車体だけの更新車両

製造:アルナ工機

⑦9700形  
【平成10年製造 2両】



9500形と外観は似ている新造車両

製造:アルナ工機

⑧1000形 国産初の超低床電車  
【平成13年～17年製造 9両】



愛称『ユートラム』  
バリアフリー対応で車内に段差が無く停留場との段差は5cm  
◆2003年ローレル賞受賞◆

製造:アルナ車両

⑨7000形 接続式超低床電車  
【平成19年～20年製造 4両】



愛称『ユートラムⅡ』  
1000形と同様にバリアフリー対応で輸送力をアップ

製造:アルナ車両

⑩7500形 新型超低床電車  
【平成29年～31年製造 4両】



愛称『ユートラムⅢ』  
1000形とほぼ同じ長さで、輸送力をアップ  
◆2018年ローレル賞受賞◆

製造:アルナ車両

⑪100形 観光レトロ電車  
【平成24年製造 1両】



愛称『かごでん』  
平成24年12月1日の電車運行100周年を記念して、大正時代から昭和30年頃まで運行していた当時の20形電車をモチーフに製造

製造:アルナ車両

⑫カフェトラム(605号)  
【昭和35年製造 1両】



平成3年に車内を改造、平成24年にお色直し、平成29年3月に「カフェトラム」としてリニューアル

製造:ナニワ工機

⑬NexTram KIRIKO(9513号)  
【平成31年改造 1両】



明治維新150周年を記念して製作された車両で、車内には木材をふんだんに使い、窓向きに座るパノラマ席を設け、装飾に薩摩切子を使用

製造:アルナ工機  
改造:オフィスフィールドノート

⑭貨車(花電車:1両)  
【明治44年製造 1両】



おはら祭り(11月)にあわせて運行

製造:不明

⑮散水電車・芝刈装置  
【平成22年3月改造 1両】



512号を散水電車へ改造  
513号の台車を芝刈装置に改造

製造:東洋工機(車両本体)  
改造:大阪車輛(散水電車・芝刈装置)

| 形式別車両数 |          |           |    |          |
|--------|----------|-----------|----|----------|
| ①      | 500形     | 1両        | ⑧  | 1000形 9両 |
| ②      | ⑫        | 600形 9両   | ⑨  | 7000形 4両 |
| ③      | 2100形    | 2両        | ⑩  | 7500形 4両 |
| ④      | 2110形    | 3両        | ⑪  | 100形 1両  |
| ⑤      | 2120～40形 | 6両        | ⑭  | 貨車 1両    |
| ⑥      | ⑬        | 9500形 15両 | ⑮  | 散水電車 1両  |
| ⑦      | 9700形    | 2両        | 合計 | 58両      |